

令和4年度 第1回清瀬市立図書館協議会議事録

日 時：令和4年7月29日（金） 午後2時～午後4時

場 所：清瀬市立中央図書館 会議室

出席者：清瀬市立図書館協議会委員

菱沼幹男委員、鈴木竜二委員、小苅米清弘委員、
春日サツ委員、絹良人委員

事務局

山口由希図書館長、渡辺明夫奉仕・地域図書館担当課長、
湯本恵庶務・資料担当主査、横山明子奉仕・地域図書館担当
主査、岩田泉奉仕・地域図書館担当主査、湯本美奈子奉仕・
地域図書館担当主査

配布資料： 資料1 清瀬市立図書館協議会

資料2 図書館長報告

資料3 令和3年度事業報告

資料4 令和4年度重点事業

議事

- 1 開会
- 2 清瀬市立図書館協議会について (資料 1)
 - (1) 委員自己紹介
 - (2) 事務局職員の紹介
- 3 会長及び副会長選出
- 4 図書館長報告 (資料 2)
- 5 令和3年度事業の報告について (資料 3)
- 6 令和4年度重点事業について (資料 4)
- 7 その他
- 8 閉会

1 開会

（館長）これより令和4年度図書館協議会を開催いたします。本日は暑い中、またお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。会長と副会長が選出されるまで議事を進行させていただきます、清瀬市立図書館館長の山口でございます。よろしくお願いいたします。

2 清瀬市立図書館協議会について（資料1）

（館長）清瀬市立図書館協議会につきまして、説明させていただきます。資料1をご覧ください。

まず、清瀬図書館協議会委員について、今回6人の方に委員になっていただきましたが、任期は令和4年4月1日～令和6年3月31日までの2年間となっております。関連の例規についてですが、清瀬市立図書館設置条例の第6条及び清瀬市立図書館運営規則の第4章にて定められており、委員の任務は、図書館の運営に関して館長の諮問を受けると共に、館長に対して意見を述べることとなっております。また、委員の中から会長及び副会長をそれぞれ選任し、定例会を年1回開催、必要に応じて臨時会を開く運用とさせていただきます。

では、委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。

（1）委員の紹介

（2）事務局職員紹介

3 会長及び副会長選出について

- ・会長 菱沼幹男委員 選出
- ・副会長 鈴木竜二委員 選出

4 図書館長報告（資料2）

（会長）では、議題に沿って進めてまいります。図書館長の報告をお願いします。

（館長）令和4年度第1回定例市議会の一般質問にて、清瀬駅南口地域児童館・中央図書館等複合施設及び中央公園整備基本計画について、宮原りえ議員（風・立憲・ネット）より「市民の声の取り入れ方について、特に子供の意見を聞く場について」の質問をいただきました。平成29年に意見交換会を実施し、平成30年にはジュニアリーダーズの方々から意見を伺い、清瀬第六小学校と清瀬第二中学校の児童生徒と意見交換を実施し子供の意見も取り入れたと聞いています。続いて原田ひろみ議員（日本共産党）より「新しく建設する図書館の床面積を広げることはいかぬか」との質問をいただきましたが、統括監企画部長より「公共施設再編計画において公共施設の延べ床面積の削減を実現するため、原則として既存の中央図書館の延べ床面積以内で整備することとしています」と答弁がありました。友野和子議員（清瀬自民クラブ）より「物的環境づくり、人的環境づくりについてどのように進めていくのか」という質問をいただき、教育部長から「新しい施設になるため、インターネット等の環境を充実させると共に、市内の大学との連携を視野に市民に愛される施設を目指す」と答弁がありました。

令和4年4月20日に開催された教育委員会において、清瀬市立図書館協議会委員の選任について（議案第12号）、本日お集まりいただいた6人の選出を諮り承認されました。次に、清瀬市立図書館組織規則の一部を改正する規則について（議案第13号）、副参事のみ置くことができる規則になっていましたが、担当課長も置くことができる規則へと改正いたしました。

続いて人事において、令和4年3月31日付けで再任用職員2名が定年退職、会計年度任用職員（専門職）2名が私事都合で退職いたしました。また、新規採用は令和4年4月1日付けで会計年度任用職員（専門職）が3名となっております。職員の人事異動は、本庁から図書館への異動が4月1日付けで2名、7月1日付けで1名、図書館から本庁への異動が7月1日付けで1名となり、新規採用者はすべて奉仕・地域図書館担当の配属となっております。

新型コロナウイルス感染症の対応について、令和4年3月6日までの予定でありました、まん延防止等重点措置が3月21日まで再延長されたため、読書席の一部を制限し、「おはなしのじかん」や「赤ちゃんとお母さんのためのおはなしのじかん」を中止しました。3月22日以降は、読書席の利用を緩和し「おはなしのじかん」や「赤ちゃんとお母さんのためのおはなしのじかん」も再開しました。今後の状況を鑑みる必要はありますが、密にならないよう空間を確保し座席数を減らして開館している状況であります。感染予防対策として、利用者にマスクの着用と入館時の手指消毒をお願いしています。全ての図書館のカウンター窓口には飛沫防止用シートを設置し、職員は必ずマスク着用を義務付け、返却されたすべての資料に対して表紙等の消毒を行い、1日以上空けてから書架に戻すようにしております。

先日開催された読書交流会についてご報告いたします。令和4年6月25日に企画部シティプロモーション課市史編さん室の香西真弓氏に吉行淳之介著「漂う部屋」を紹介していただきました。内容は、吉行淳之介氏が東京病院に入院されていた、当時の清瀬市に関する大変興味深い話をたくさんしていただきました。報告は以上です。

（会長）感染症対策も十分に行い、感謝しています。新しい施設に対しての関心が高いと思いますが、この施設はいつ頃完成予定ですか。

（館長）令和7年10月にオープン予定であり、昨年「清瀬駅南口地域児童館・中央図書館等複合施設及び中央公園整備基本計画」が公表されています。その計画では建物は2階建ての構想となっており、現在、設計業者を選定中です。

（会長）わかりました。今回の児童館・中央図書館の複合施設建設計画は、多く

の市民が期待されているものだと思います。

他にご意見はありますか。

(委員) 読書交流会について確認させていただきたいのですが、第 1 回から第 20 回まで司会を前館長が担っており、第 21 回では担当課長が司会をされておりましたが、何か変更に関して意図があったのでしょうか。

(館長) 第 21 回読書交流会は、企画・立案及び交渉すべて担当課長が携わった経緯があり、担当課長が司会を担当いたしました。

(担当課長) 読書交流会の冒頭で、館長から司会変更について説明をしてもらった方が良かったかもしれませんが、その考えが至らず申し訳ございませんでした。これまでご参加いただいている方には違和感があったかもしれませんが、幅広く事務の継承をしていくという点から、徐々に職員に受け継いでいきたいと思い司会変更をさせていただきました。

(委員) そういう経緯であるならわかりました。引き続きよろしくお願いします。

5 令和 3 年度事業の報告について (資料 3)

令和 3 年度の事業について 奉仕・地域図書館担当主査より説明

(会長) 説明を聞いて、知らなかった図書館の業務がたくさんあると改めて感じました。

(委員) 図書館業務を資料にまとめて委員に提示してもらえることは非常に有意義であり、資料を通じて図書館の活動を知ることができるため、ありがたいと思います。ところで、ハンディキャップサービスにある「プライベート図書」とはどのような図書を指すのですか。

(館長) 利用者が希望する資料や書類等を、朗読して提供するサービスのことをいいます。朗読は音訳ボランティアをお願いしています。

(委員) 「プライベート図書」とは図書館の専門用語ですか。

(館長) 専門用語かどうかわかりませんが、我々は普段から自然に使用しております。

（委員）初めて目にする用語であったため、特別なのかと感じました。他市の図書館でも同様の言葉を使っているのでしょうか。

（館長）名称が同じかどうかは不明ですが、同様のサービスは他市の図書館でも実施しています。

（委員）わかりました。ところで、昨年度は立教大学の図書館実習があったようですが、どのような経緯で実習が決まるのですか。

（館長）学生本人からの希望を受け、大学から依頼があり実施に至ります。図書館では受け入れ体制も整っており、実績もあります。

（委員）学生にとって司書資格を得るために必要ですか。

（館長）司書資格の科目に図書館実習があります。

（委員）教職課程の実習と同等なものと理解しました。また、小学校の図書館施設の見学を実施しており対象が小学 2 年生となっていますが、他の学年は実施しないのでしょうか。

（館長）小学 2 年生の授業に「町探検」があり、地域の公共施設等を訪ねてそこで働く人に話を聞き、まとめるというものがあります。

（副会長）補足しますと、2 年生の生活科に公共施設の見学があり、身の回りの施設の使い方等を知り、3 年生の社会科へとつながっていくもので、どこの学校でも実施していると思われます。

（委員）図書館の児童サービスとして大変重要な業務であると認識しました。

（副会長）令和 2 年から 3 年と新型コロナウイルス感染症の影響で図書館のサービスが制限されていますが、代わりに予防対策等、通常では行わない図書館業務が増えて大変だったと感じています。今年度も感染者が大幅に増えた上に、行動規制もない状態で色々大変だとは思いますが頑張ってください。

（委員）新型コロナウイルス感染症の影響で「おはなしのじかん」も中止になっていましたが再開し、再び子供と関わる時間も増えてやっぱり良かったと感じています。

ウィズコロナと言うべきか、駅前図書館や元町こども図書館では以前のにぎわいがなくなってしまい、少し寂しい気持ちもあります。また、この間の読書交流会は清瀬市の歴史を語った内容だったので、時間が足りないくらい非常に熱気があり、充実していました。もっと参加する人数が多ければ良いと感じました。

(会長) 機会があれば再度、市民が学べる場を持てると良いと思います。
他にご意見はありますか。

(委員) 新しい施設が建つまでの間、老朽化した中央図書館の施設の維持管理が大丈夫か心配ですが、どうでしょうか。

(館長) 現在、空調設備等機器の故障はなく稼働しております。大丈夫です。

(委員) 図書館への苦情等で職員が苦慮していることはないですか。

(担当課長) 以前に比べると大きい苦情はなくなってきています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者に対しご不便をかけてきたので、感染者の状況は考慮する必要がありますが、緩和する方向にいかうかと考えております。いずれにしても、来館者が利用しやすい図書館を目指していきたいと思っております。

(委員) マスク着用のない利用者に対して、図書館でマスクは用意してありますか。

(担当課長) 現在は用意しておりません。以前、コロナ禍になってすぐだったと思いますが、本庁から市民ボランティアが作成した布マスクをマスク着用のない利用者に渡していました。今は公共の場ということで、利用者にはマスク着用や手指消毒の協力を求める対応をとっております。

(会長) 以前、大学の学生に図書館の使い心地を聞いたことがあります。中央図書館の2階にある読書室は利用しやすく便利であるとの感想でした。個人のスペースを確保できると、より良いと思います。

6 令和4年度重点事業について(資料4)

令和4年度の重点事業について 担当課長より説明

第2回 清瀬市 図書館を使った調べる学習コンクールについて

奉仕・地域図書館担当主査より説明

(委員) 一般的に「コンクール」という場合は、資料に選考委員会を明記し、どのような選考委員会を組織するかによってコンクール自体が社会的に評価されます。資料を見ると選考委員会の明記がされていません。昨年も同様に「図書館を使った調べる学習コンクール」が執り行われたので問題はないとは思いますが、社会常識的にはどうだろうかと感じました。

(奉仕・地域図書館担当主査)「図書館を使った調べる学習コンクール」を実施する際に他市のホームページ等を参考にチラシやポスターを作製しましたが、特に選考委員会について明記している自治体はありませんでしたので、載せませんでした。ご指摘の点も含め再度検討いたします。

(委員) 常識として募集要項に選考組織に関することは記載すべきであり、ぜひ検討していただきたいと思います。

(会長) 主催が教育委員会ということもあり、教育委員が審査する位置づけになると思いますが、ホームページ等で選考委員会について掲載するのはどうでしょうか。検討をお願いします。

(副会長) この「図書館を使った調べる学習コンクール」自体は大変素晴らしいものでありますが、清瀬市の現状では夏休みに実施される「コンクール」と名の付くものは多くあり、児童や教師の負担を考えると少しスリム化し、かつ児童にとって本当に大切なものは何かの見直しをしなくてはならないと思います。その後で、改めて児童が学びたいと思う環境づくりを整えていかなくてはならない、と個人的には思います。

また、図書館のサービスとしてレファレンスを児童向けに実施できないでしょうか。現在、GIGA スクール構想によってノートパソコンを支給されています。調べ学習をすると「とりあえずインターネットで検索してみよう」という話になりますが、インターネットでの検索はキーワードに対して全部の情報が与えられ、必要かつ正しい情報かどうかの取捨選択が児童には困難といえます。そこで、個人個人に見合った情報を渡してくれるのは図書館ではないかと考えます。図書館がインターネットよりも質の高い検索ができ、例えばインターネットではわからなかったことが図書館でわかったとなると、それは図書館の強みとなり、図書館ならではのサービスだと思います。

(館長) 貴重なご意見ありがとうございます。

(委員) 図書館のレファレンスは、これまでもご指摘のようなサービスはされていたと思います。

(副会長) そうかもしれませんが、一般的には浸透していなかったと思います。チラシ一つにでもそれを「売り」にすべきであり、「図書館を使った調べるコンクール」において「なぜ図書館を使うのか」が明確になるようなPRをしていただけだと思います。その辺りをもっと表してもよいのではないのでしょうか。

(会長) ぜひ、図書館で調べることの楽しさが伝わるようアピールをしてください。今後の課題としてお願いします。

他に意見はございますか。

(委員) 昔は「図書館は静かである」という概念がありましたがもう時代遅れとなって、「にぎやかな図書館」が主流であり図書館は「その地域の人が寄り集まる場所」という捉え方に変化しつつあると思います。もちろん「静かに読書する場所」という伝統的な機能は大切にしつつ、地域の市民が気軽に立ち寄ってくれるような施設に作り替えていってほしいと願います。

また、図書館の重点事業の一つとして、図書館協議会委員の研修を加えてほしいと思います。

(副会長) ところで、図書館の経営方針というものは作っていますか。

(館長) 全体の計画として「清瀬市教育総合計画マスタープラン」や「清瀬市長期総合計画」があり、その中で策定しています。「清瀬駅南口地域児童館・中央図書館等複合施設及び中央公園整備計画」の中で、今後「地域の人が寄り集まる場所」といった点も含めて整備計画に反映されていきます。

(会長) この計画は多くの市民が期待するところであるため、ぜひ検討していただきたいと思います。

7 その他

(館長) 先ほども話題に出ていましたが、今年度の図書館協議会視察研修は東京都瑞穂町図書館を予定しております。日程等決まり次第にお伝えいたします。

(副会長) 清瀬教育の日に「図書館を使った調べるコンクール」の表彰式がありますが、時間等予定は決まっていますか。

(館長) まだ詳細は決まっていないと思います。こちらもあり次第お伝えいたします。

(会長) では、最後に副会長からひとことお願いします。

(副会長) 本日はありがとうございました。今年度も様々なイベントがあり、お会いすることもあると思いますが、何か力になれることがあればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(会長) 本日はこれで閉会いたします。おつかれさまでした。